

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類				詳細点検
事務事業名	展示事業	シート番号				A 一般事務事業
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸	課 評価責任者(課長名)
						増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 55 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	博物館法・文化財保護法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	昭和55年の開館以来、堺の歴史・文化を紹介するために、堺に関する歴史・考古・民俗・美術資料を展示している。平成27年度、従来の特別展事業と企画常設展事業を統合した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	本市への来訪者及び市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	常設展示のほか、企画展、特別展等を行い、市民及びビジターを対象に、堺市の歴史を多様な角度から紹介することを目的とする。また、堺市の伝統を軸とした都市としての魅力を創出し、文化芸術の拠点性の向上に努めることにより、都市イメージの向上、集客及び個性豊かな市民文化の向上を目指す。また、特別展では、より広範囲からの集客やリピーターを獲得して『堺市の広報』としての情報発信も担う。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	博物館の基本展示である常設展示のほか、テーマをしぼり深く掘り下げた内容を紹介する企画展を年間5回程度実施し、他部局と連携した企画や、観覧者の多様な興味・要望に応じた企画により開催している。特別展では、通常2~3年の調査・準備期間を費やして、企画・実施する。多方面からの資料を借用して展示、それに伴う展示場の内装整備、図録の作成、関連事業の実施等を行う。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		委託業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

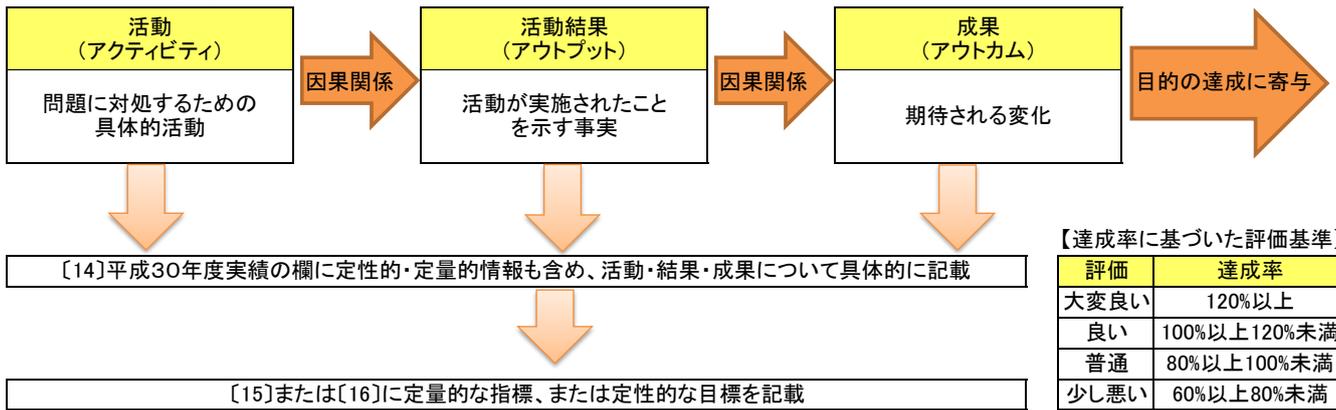
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	10,494	13,638	12,969	8,489	
11 主な事業費内訳	会場設営、資料集荷返却等展示関連業務	千円	7,708	8,732	7,517	4,100
	図録、リーフレット製作等広報・資料作成等業務	千円	1,608	2,820	2,870	2,800
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	1,909	2,037	2,104	5,674
	市債	千円				
	その他(物品売払収入)	千円	76	418	0	2,000
一般財源	千円	8,509	11,183	10,865	815	
12 人件費 (b)	千円	25,420	25,420	25,420	34,740	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	35,914	39,058	38,389	43,229	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	展示事業	シート番号	08-63
-------	------	-------	-------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	<p>○企画展「堺市の指定文化財－絵画・彫刻・工芸品－」 4/28～5/27</p> <p>○企画展「堺県とその時代－近代地方行政のさががけ－」 6/2～7/8</p> <p>○特別展「土佐光吉 戦国の世を生きたやまと絵師」 10/6～11/4</p> <p>○企画展「堺・経典をめぐる文化史」 11/17～12/16</p> <p>○企画展「むかしの暮らしーふしぎな道具の世界ー」 H31 1/8～3/3</p> <p>○企画展「堺と芝居－興行の場とゆかりの人々－」 3/30～5/12</p>					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	企画展の開催回数	回	目標値	5	5	7	6
			実績値	5	6	7	
			達成率	100%	120%	100%	
			評価	良い	大変良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		展示事業の内容及び性質に伴い準備・開催期間の長短があるため、必然的に年間の開催回数には差が生じる。				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	特別展の開催回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	
			達成率	100%	100%	100%	
			評価	良い	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		開催回数				

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>当初計画通り特別展1回、企画展5回を開催できた。観覧者も増加し達成度は高い。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。